



© graphic concrete®



# サービス

## ソリューション

長年の開発を経て、グラフィックコンクリートは幅広いサービスを提供するビジネスに成長しました。私たちのビジネスのコアは、グラフィックコンクリートシートです。このシートは、プレキャストコンクリート（PC）表面に魅力的で耐久性のあるパターンとビジュアルイメージを施すことを可能にします。当社のソリューションは、建築家やデザイナーが視覚的な創造性を建築プロジェクトに活かすと同時に、建築家、投資家、開発者に視覚的で恒久的なバリューをもたらすためのツールです。当社は確かな専門知識とノウハウを提供し、建築家やプレキャストメーカーから建設施工者、投資家、開発者まで、すべてのパートナーに最適なお提案とトレーニングをご提供します。

## 設計提案

グラフィックコンクリート表面のパターンの設計は比較的簡単です。ただし、パターンの最適化には、リピート、コントラスト、ラスターの使用などに関する知識が必要です。当社では建築家とグラフィックスペシャリストがデザインプロセスをガイドし、必要に応じてデザインサービスをご提供しております。また、私たちの専門知識を活用し、パターンデザインを私たちにアウトソーシングしていただくことで、建築全体像に集中していただくこともできます。また豊富なコレクションパターンからお好みのパターンを選択することもできます - すべてのパターンは私たちのウェブサイトにもリストアップされています：

[www.graphicconcrete.com](http://www.graphicconcrete.com)

## 製造トレーニング

グラフィックコンクリートを使用したPC版は、通常のPC版の製造プロセスよりも難しくありませんが、実際の製品打設を開始する前に、さまざまな詳細を確認する必要があります。私たちはすべてのPC版のサプライヤークライアントに資料とトレーニングセッションをご提供しております。また、コンクリート構造やコンクリート設計に関する豊富な知識に基づいて、グラフィックコンクリートの使用に関する一般的なコンサルティングも行っておりますので安心してご使用いただけます。





# 特 長

グラフィックコンクリートは簡単に導入できます。

- ・グラフィックコンクリートシートは、紙を母材としたシート状なのでフレキシブルでカットしたり切り繋いだり加工しやすく、スラブのサイズに柔軟に対応します。
  - ・用途に応じた様々なコンクリート配合に対応できます。
- 製造には特殊な設備を必要としません。洗い出し仕上げに対応できる工場であれば直ぐにグラフィックコンクリートをご使用いただけます。
- ・ It requires no special structural adjustments. The exposed areas are only about one 仕上げの洗い出し面は1ミリと薄く、“被り”を取るなどの構造的に付加される負担がほぼありません。

グラフィックコンクリートは環境にやさしい製品です。

- ・グラフィックコンクリートシートは安全でリサイクルできます。
- ・有害なガスや化学物質を排出しません。
- ・製造時に使用する溶剤や発生する塵などの排出を抑えることができます。
- ・建築的な環境にも負荷をかけることはありません。

グラフィックコンクリートの仕上げは時間的なロスなくご使用いただけます。

- ・製造後の加工なく、必要に応じて施される撥水処理などしたのちに現場で取り付けられます。
- ・足場を必要としないPCなので複合的に取り合う建設現場でのコストを抑え工期短縮に貢献します。
- ・出来上がった製品は100%コンクリートで、素材そのものの耐久性の高い表面が施されます。
- ・施されたグラフィックコンクリートの仕上げ面はメンテナンスフリーなので、建築の耐用年数まで
- ・未永くコスト削減に貢献します。



## プレキャストに最適化されたグラフィックコンクリート

### グラフィックコンクリートとは？

グラフィックコンクリートは、PCカーテンウォール、ファサード、間仕切り、擁壁、床、舗装スラブなどのプレキャストコンクリート表面に魅力的で耐久性のあるパターンや画像イメージを再現できる独自の技術です。それは建物の建築的外観を耐久性を保ちつつ、タイムレスな美しいディティールの両方をご提供できるデザインツールです。高品質な工場生産によって製造されたすべての建築PC部品に最適化されています。当社がご提供する製品は、PC版製造工場で使用されるシートです。オーダーメイドのイメージが表面凝結遅延剤(リターダー)を使用して印刷されたシートは、プレキャストコンクリート工場に送られます。コンクリートがシート上に打設され、コンクリート面に転写されたリターダーが洗い流されるとイメージが浮かび上がります。このイメージは、スムーズな打ち放し面と露出した骨材の洗い出し面のコントラストから生まれます。使用する骨材および砂/またはセメントの色を変更すると、バリエーションの際立った演出をご提供することができます。



骨材の洗い出し



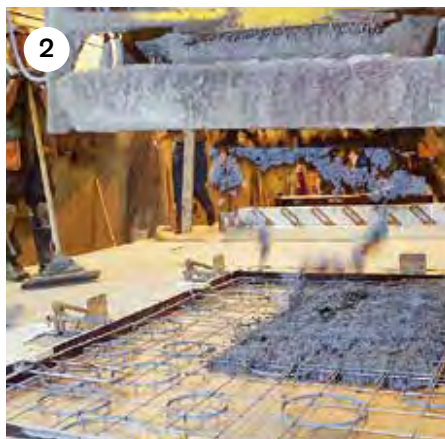
スムーズな打ち放し



グラフィックコンクリート



1 グラフィックコンクリートシートを型枠に敷き込みセットします。



2 型枠配筋をセットしてコンクリートを打設します。



3 PC版を脱型してシートをはがします。

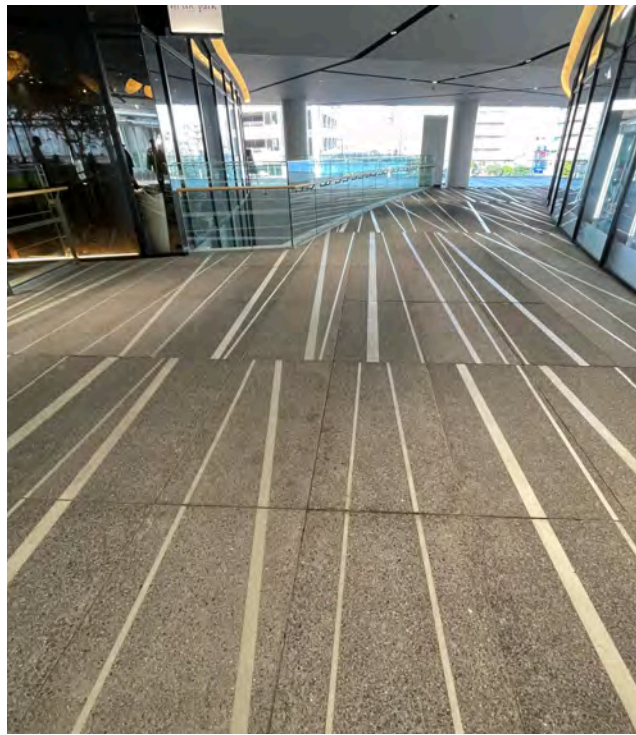


4 仕上げ面を圧水洗浄します。



5 洗い出された面とのコントラストでパターンが浮かび上がります。







## はじめり — グラフィックコンクリートストーリー

グラフィックコンクリートは、工業デザイナーのサムリ・ナーマンカがヘルシンキ芸術大学で学んでいた1996年にアイデアとして生まれました。彼は、建築材料としてのコンクリートについてさらに深く学ぶために、コンクリート用途に関するコースを履修しました。このコースの目的は、コンクリートの新しい外観を検討することで、フィンランドのヘルシンキにあるPikkuHuopalahtiConcreteParkの景観設計を行うことでした。ナーマンカは、ファサード材料としてのコンクリートの美的価値と、工業的に実行可能な方法でコンクリート表面を処理する方法を研究しました。これにより、1999年2月に特許を取得した、パターン化されたコンクリート表面を作成するための新しい方法であるグラフィックコンクリートが生まれました。

そして真の課題は、発明された技術をプレキャストコンクリート製造に適用することでした。2000年には、フィンランドの大手コンクリート工場、製紙会社、印刷研究所と共同で製品開発プロジェクトが開始されました。このプロジェクトは、フィンランドのコンクリート産業とフィンランド技術革新基金庁(Tekes)に関連する企業によって資金提供されました。

研究開発プロジェクトは成功し、2002年にGraphicConcreteLtdが設立されました。グラフィックコンクリートは当初から建築家やデザイナーのためのツールとして開発されました。このツールを使用すると、視覚的な創造性を建設プロジェクトに統合し、大規模なコンクリート表面を工業的に設計することができます。今日、グラフィックコンクリートは、世界25か国の700以上のプロジェクトで、多数の建築事務所やプレキャストコンクリート工場で使用されています。世界中での豊富な実績は、公共、住宅、産業、インフラストラクチャなど、グラフィックコンクリートを使用できる幅広い設計の可能性を示しています。

詳しくはウェブでご覧いただけます。 [www.graphicconcrete.com](http://www.graphicconcrete.com)

### 掲載写真

#### カバー写真

グラフィックコンクリートサンプルスラブ  
パターン: Textilia & Mosaic Ellipse &  
撮影: Kuvatoimisto Kuvio Oy

#### 1 ページ

(左上)北里柴三郎記念館、東京都、2017年  
設計: 日本設計  
グラフィックデザイン: エモーションナル・スペース・デザイン  
撮影: ビベル

(左下)南池袋公園、東京都、2020年  
設計: ランドスケーププラス  
撮影: ビベル

(右)神田スクエアゲート、東京都、2020年  
設計: 日建設計  
撮影: ビベル

#### 2 ページ

Viborg Provincial Archive、デンマーク、  
Viborg、2015年  
設計: シュミットハマーラッセンアーキテクツ  
撮影: HeleneHøyerMikkelsen

#### 3 ページ

グラフィックコンクリート製造プロセス  
撮影: Pekka Agarth、Veli-Pekka Rydenfelt

#### 4 ページ

(左上)G735ギャラリー、東京都、2016年  
設計: TA+A  
グラフィックデザイン: エイトブランディングデザイン  
撮影: オフィススズキ

(左中)NICCAイノベーションセンター、福井県、  
2017年  
建築設計: 小堀哲夫建築設計事務所  
ランドスケープ設計: スタジオテラ  
撮影: ビベル

(左下)町田市色彩の杜カナルゲート、東京都、2020年  
設計: スタジオテラ  
撮影: ビベル

(右上)ウポボイ(国立民族共生公園)、北海道、2020年  
設計: 高野ランドスケーププランニング  
撮影: ビベル

(右中)船場センタービル、大阪府、2014年  
建築設計: 石本建築事務所  
グラフィックデザイン: サムリ・ナーマンカ  
撮影: ビベル

(右下)川越Uプレイス、埼玉県、2020年  
設計: 戸田風景計画  
撮影: ビベル

株式会社ビベル

東京都新宿区信濃町3番地  
エスコート101

Tel. 03-5341-4243  
gc@bevel.co.jp  
www.bevel.co.jp